

平成 28 年度における主なイノシシ管理施策の実施状況について

1. 捕獲

(1) 野生獣管理事業補助金

- ・鳥獣被害防止特措法に基づき被害防止計画を策定している市町村を対象としている。
- ・平成 28 年度の補助頭数は 26,181 頭（全体の捕獲数については集計中）。

(2) 指定管理鳥獣捕獲等事業

- ・イノシシの分布拡大の防止・縮小を目的に、分布の飛び地である成田地域で 40 日間、及び分布の外縁部である長生地域で 90 日間実施した。
- ・箱わな及びくくりわなを用いて、成田地域で 12 頭、長生地域で 41 頭を捕獲した。

2. 防除

(1) 防護柵や捕獲機材等の購入に対する助成事業

- ・国交付金及び県単補助を合わせ、およそ 313 km の防護柵の設置に対し助成した（表 1）。

3. 人材育成

(1) 獣害と戦う農村集落づくり事業

- ・イノシシの被害が出始めている地域を対象に、農村集落が集落ぐるみで対策に取り組む活動や人材育成を支援した。
- ・農作物等の被害状況や有害獣の出没状況の把握、被害対策計画の策定、捕獲や柵の設置等の被害対策を行った。
- ・館山市神戸地区、山武市豊岡地区、東金市小野地区、銚子市西部地区、印西市角田地区の計 5 地区で実施した。

(2) 地域リーダー育成事業

- ・近年になり被害が急増している地域での集落ぐるみによる対策を推進するため、地域リーダーを育成する研修事業を開催した。

- ・ 獣害対策手法に関する講義及び技術実習に加え、集落環境診断実習や食の安全に係る講義を行った。
- ・ 東部、北西部、南部3地区を対象とし、のべ237名の参加があった。

(3) 有害獣捕獲員研修

- ・ 市町村の有害鳥獣捕獲事業で銃を使用する捕獲員を対象に、有害鳥獣捕獲事業の安全の確保を図ることを目的とした研修を11回開催した。合計で1,064名の捕獲員に対し、法令順守及び銃器の取扱い等に係る研修を実施した。
- ・ 市町村の有害鳥獣捕獲事業に従事する捕獲員を対象に、わなを使用した技術講習を3回開催し、わな設置から止めさしまでの方法やポイント等について講義や実習をとおり研修した。合計で41名の参加があった。

(4) 新人ハンター入門セミナー

- ・ 有害鳥獣捕獲の担い手の確保・育成を図るため、主に若者をターゲットとしたハンター養成講座を1回開催した。
- ・ ベテランハンターによる狩猟講座や模擬銃を用いた猟銃の取扱い講座、実射見学等のワークショップのプログラムを実施し、35名の参加があった。

4. 普及啓発

(1) 千葉県イノシシ・ニホンジカわな捕獲マニュアル

- ・ わなによるイノシシ及びニホンジカの捕獲を推進するため、わな猟の初心者を対象にマニュアルを作成した。
- ・ わな設置場所の選定から止め刺しまでの基本的な流れやポイントをまとめた。
- ・ 有害獣捕獲員研修員の受講者や関係機関に配布した。



5. 食肉利用

(1) 房総ジビエ活用普及事業

① 飲食店向けジビエ講習会

- ・ 県内の飲食店にジビエ利用について理解を深めてもらうことを目的に、平成28年

9月に講習会を開催した。

- ・仕入れ先や衛生管理、肉の処理・調理のコツ等を紹介した。

② 房総ジビエフェア

- ・千葉県内で捕獲されたイノシシ肉及びシカ肉の消費喚起につなげるため、夏期及び冬期に開催した。
- ・夏期は平成28年8月から9月にかけて17日間実施し、計39店舗（県内36店舗、都内3店舗）の参加があった。
- ・冬期は平成29年1月から2月にかけて31日間実施し、計50店舗（県内45店舗、都内5店舗）の参加があった。

6. 各種モニタリング

(1) 農家アンケート

- ・有害獣の生息状況や被害状況を把握するため、農家組合長等を対象としたアンケート調査を実施した（図1）。
- ・中南部地域のみではなく、北部地域の広域に分布が拡大していることが確認された。
- ・農作物被害状況については、以前より分布している中南部地域を中心に被害が深刻な地域が広がっていると同時に、北部の一部地域でも被害が深刻な地域が確認された。

表1 市町村別防護柵設置状況

単位：m

市町村名	S57～H22	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	合計
千葉市					2,300	984	1,620	4,904
市原市	67,371	40,010	48,979	29,503	30,296	43,239	75,945	335,343
印西市				3,340	11,500	19,000	29,000	62,840
東金市			2,876					2,876
一宮町				9,450	1,330			10,780
睦沢町	4,225	7,493	795	930	7,584	2,299	930	24,256
長柄町				13,600		16,280	5,900	35,780
長南町	1,140	1,923	2,542	2,481	7,796	3,222	11,440	30,544
勝浦市	148,000	18,890	11,609	3,435		3,362	2,465	187,761
いすみ市	64,004	38,735	49,346	34,254	18,282	8,109	8,729	221,459
大多喜町	124,585	6,843	15,002	6,943	10,454		4,600	168,427
御宿町	55,992	2,230	2,195	1,894				62,311
館山市	7,493	9,737	17,991	6,180	7,034	1,520	10,718	60,673
鴨川市	147,378	11,395	28,670	9,253	7,460		1,969	206,125
南房総市	216,596	83,204	63,460	18,320	29,975	14,760	18,935	445,250
鋸南町	48,725	33,090	18,480	8,914	687			109,896
木更津市	21,371	6,779	15,084	6,764	14,937		1,267	66,202
君津市	134,922	9,166	9,323	18,502	47,974	18,986	105,160	344,033
富津市	187,778	55,594	41,398	11,001	17,509	15,604	31,679	360,563
袖ヶ浦市			3,444	11,807	20,311	4,082	3,168	42,812
計	1,229,580	325,089	331,194	196,571	235,429	151,447	313,525	2,782,835
累計		1,554,669	1,885,863	2,082,434	2,317,863	2,469,310	2,782,835	

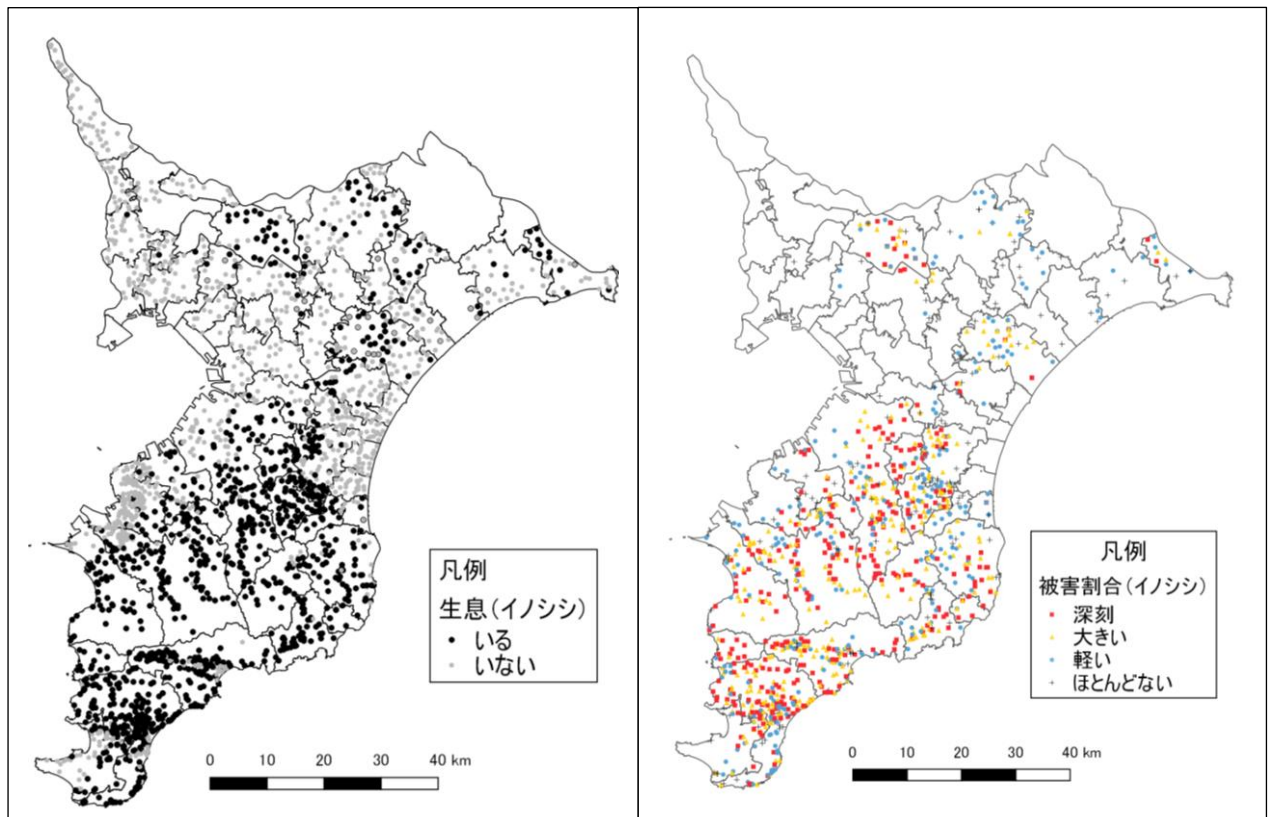


図1 農家アンケートの実施結果

※54市町村のうち45市町村で、平成27年度から平成28年度にかけてアンケート調査を実施。平成27年度のアンケートは、国立環境研究所及び東京大学が中南部地域を中心に実施し、平成26年度の被害状況を収集した（未発表）。平成28年度のアンケートは、県が北部地域を中心に実施し、平成27年度の被害状況を収集した。

※分布が連続している地域から離れた場所で生息が確認されている地点については、一時的な分散個体もしくは誤回答によるものと考えられる。